

首里城の門について 調べてみよう！

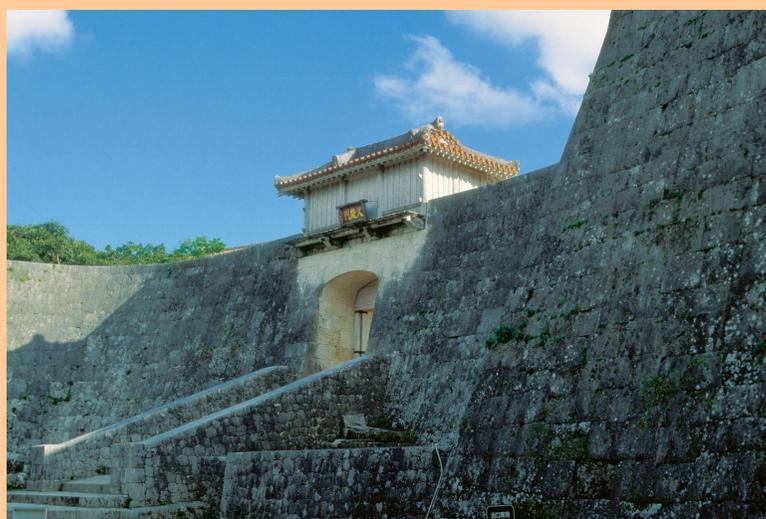
首里城には入口がいくつかあり、それぞれ正殿に行くまでいくつかの門を通るため、たくさんの門がある。首里城は城壁が二重に積まれていて、外側の城壁のことを「外郭」、内側の城壁のことを「内郭」といい、外郭の門は戦に備えて内郭の門より頑丈に造られたと言われている。ここでは、その「外郭」と「内郭」で見られる、3種類の門を紹介するよ！その造り方や形態にどのような違いがあるのか見てみよう！

1. 外郭の門：アーチ状の石門の上に檜(建物)が乗っている



かん かい もん
歓会門

首里城に入る最初の門。首里城の正門で、「歓会」とは歓迎するという意味。門の両側には魔除けのシーサーが置かれているよ。



きゅう けい もん
久慶門

通用門として使用された門。主に首里城で働く女性が利用していたと言われている。門の左手には「寒水川樋川」と呼ばれる湧水があるよ。



けい せい もん
継世門

首里城の東側にあり、いわば裏門。王位継承の儀式の際には、この門から城内に入った。それが門の名前の由来となっている。門の横にある石碑には、戦に備えて建てられたという内容が書かれているよ。

首里城の門について 調べてみよう！

2. 内郭の門：左右の石積みの上に檣（建物）が乗っている



すい せん もん
瑞泉門

首里城に入る第二の門。
「瑞泉」とは立派なめでたい泉という意味。
門の右側には「龍樋」と呼ばれる湧水があるよ。



ろう こく もん
漏刻門

首里城に入る第三の門。
門の上の檣に水槽を置き、水時計で時間を計ったことで名付けられたよ。



しゅくじゅん もん
淑順門

御内原という正殿の後ろ側へ入る門。
首里城で働く女性が使用した門だよ。



う えき もん
右掖門

歓会門から淑順門へ通じ、御内原へ入る通用門。その名前は正殿の右側にあることに由来しているよ。

首里城の門について 調べてみよう！

3. 内郭の門：建物そのものが門で役所の機能を持っている



こう ぶくもん
広福門

首里城に入る第四の門。
「広福」とは福を^{ふく}行き渡^{わた}らせるという意味。
左右の部屋には「^{じしゃざ}寺社座」と「^{おおくみざ}大与座」という役所が置かれていたよ。



ほう しんもん
奉神門

首里城正殿にある御庭という広場へ入る最後の門。「奉神」とは神を敬うという意味。
3つの通用口のうち、真ん中は国王など身分の高い人しか通れなかったんだ。

首里城にはその他にも、「^{さ えきもん}左掖門」、「^{はく ぎんもん}白銀門」、「^{び ぶくもん}美福門」などがある。
また、首里城の周辺には、「^{しゅれいもん}守礼門」・「^{その ひゃん ぶ たいしもん}園比屋武御嶽石門」・「^{えん かく じ そうもん}円覚寺総門」などがある。

首里城に 門を調べに行こう！

